

さわやか大学23期会

第5号

会報 ふたみ

令和2年3月発行

♥ 新年会 みんな元気一杯、まだまだ若い ♥



# 熊本さわやか大学校とわが人生

会長 田口 健郎

平成二十六年四月一〇日に熊本さわやか大学校に入学して、早や六年になろうとしています。初めての出会いなのでお互いに顔が緊張していましたね。一面識ない者同士が、講座が進むにつれ、楽しい日々を過ごしたことが思い出され、一年間の講座が終了時には、何年も前から知り合いであったかのように会話が弾んでいたことを思い出します。

卒業後は二十三期会という同窓会が発足し、いろいろな人々と人生の楽しみについて話し合い、お互いに勇気を出し合ってきました。これぞ人生の絆ですよ。

二十三期会はワンチーム（犬ではありません）であると思います。各班において、班長さんを中心に楽しい場づくりを、継続的実践されていることに感謝申し上げます。

二十三期会の全体の行事についても、副会長はじめ役員の方々の献身で、毎年新しい行事・心ウキウキする行事を企画し、継続していること、会員の皆さんが喜んで参加していただいていますことに感謝申し上げます。

二十三期会会員の皆さんの今後もご協力をお願い申し上げます。

## 令和元年度活動報告

### 【総会と研修会】

事務局長 堀川和幸

平成三十一年四月十八日、国際交流館に於いて、二十三期会の総会が四十名の出席の下開催された。

清水副会長の宣言の言葉で幕を開け、全ての議案が滞りなく承認され、最後に新役員の紹介があり、田口会長が新役員の代表として挨拶され、岡本副会長が閉会宣言を行い終了した。

総会終了後、二十三期会の第一回研修会として「熊本城復興の状況」をテーマに、当会員であり、熊本城案内ボランティアでもある小西氏から講演が行われた。

熊本城の最終復興は二十年後と言われているが、地震から三年が経ち、熊本城天守閣の復興が成され、現在小天守閣に復興工事に移っているとの説明があり、少しずつであるが熊本城の復興を実感し

ました。

研修会后、熊本城の復興状況を現場で見ようと、二の丸公園・加藤神社へ出かけた。そこからの眺めは、地震で崩れた大天守閣とは違った新しい佇まいの熊本城の姿であった。熊本城を、遠くからでなく目の前で見られる日が早くきて欲しいと思った。



## 【講演会】

### 「村上美香さんの講演会に参加して」

小篠 登志美

ここは五福公民館、会場一杯、美香さんの登場を今か今かと待つ人で溢れていました。

さすが元アナウンサー、軽妙な話術で会場を盛り上げ、時折出される問題で突然の指名があり、ドキドキしながらも楽しい時間でした。

美香さんの話の中で、親交のある方々の話を聞いたのですが、私が特に印象的だったのは、現在八十九歳で写真家の「西本喜美子」さんでした。七十歳で写真家となり八十歳でパソコンを覚えられたと聞き、年だからという理由で一歩前に踏み出せずにいた自分に勇気を頂きました。

あと数年で古希を迎える私ですが、敬遠していたパソコンにトライし、また新たなことに挑戦していこうと思っております。

## 【日帰り旅行】

日帰り旅行企画 續 正

本年度の日帰り旅行はご存知の通り中止となりました。さわやか大学を卒業後毎年続いていた会員の親睦を深めるための旅行でしたが、残念ながら、参加者が会員の半数にも満たず、そのままでは運営が難しいとの判断から今年度は中止としました。

旅行先が人吉で、多くの方が訪問先をご存知であったため、旅行としての魅力がなかったものと反省しております。

来年度は新たな役員の皆さんで、日帰り旅行の在り方を改めて検討され、会員の多くの方が参加されるような企画をされます様お願い致します。

## 【臨時総会】

事務局 富田 素子

令和二年一月二十三日、青柳での新年会の前に、会則の変更について臨時総会が開かれた。

まず堀川事務局長より、第六条と第七条改定についての趣旨説明がされた後、渡邊さんの議長で協議を進められた。これといった質問もなく、満場一致で改定内容が可決された。

この結果を受け、四月から新しい組織

運営されることとなる。

## 【新年親睦昼食会】

事務局 角居真理子

一月二十三日、未明の激しい雨も上がり臨時総会終了後、郷土料理青柳にて三十五人が出席して新年会の幕開けとなった。

司会 續副会長、田口会長、有尾副会長の挨拶の後、おいしい料理とアルコールも入り宴もたけなわに。さらに「なぞなぞ遊び」「難読当てクイズ」があり、正解者にはささやかな景品も渡され、多いに盛り上がった。

二時間の楽しい宴の後、三班の高森さんの一本締めにつき、最後に集合写真に納まり散会となった。

会場の手配、宴の進行など実行委員の方々に謝意をのべると共に、予測不可能な昨今、会員の皆様にとって幸多き一年になることを祈念いたします。



## 各班活動報告

### 一班 續 正

一班では毎年食事会や小イベントを開催してはいますが、今年はそば打ち体験を行いました。当初は七月初旬に計画しましたが、数日間雨が続き災害の心配もあり、日程を変更し七月下旬に実施しました。

南阿蘇久木野のそば道場での初体験。道場ではスタッフの方が丁寧に指導され、そば粉がだんだんとシート状になり、最後は折りたたんで大きな包丁で麺状にカット。そのまま食堂でざるそばにしてもいい、自分たちで作ったそばを堪能。ごく普通のそばの味。でもみんなニコニコしながら楽しそうに完食。



その後高森の湧水トンネルへ。八月の七夕祭りに向けての七夕飾りを見ながら奥へ。少し寒いぐらいでしたが、とりあえず満足。

帰りに道案内者が道を間違え南阿蘇の細い田舎道をグニャグニャと。それでも事故もなく帰ってきました。

### 二班 有尾 誠次

#### 「ミステリーバス旅行」

「ミステリーバス旅行はいかがですか」という旅行会社のチラシが目にとまりました。

早速友人と二人でバス会社と膝を交えて相談した結果、私共に二十席を頂くことに成功。早速さわやか大学の友に声をかけ二十人の方を集まって頂きました。

当日は秋の味覚のリング狩りに始まり、雄大な景色を眺めながらバイキングの昼食、食事の後は二本の溪流が合流する出会いの滝との顔合わせ、そして県下最大の大イチョウとの出会い、はたまた、宝くじの当選祈願神社参拝、最後は秋色に染まる溪谷美を堪能しました。

盛り沢山の企画にて、低価格でしかも大型バスで全員三十二名のゆったりした

乗車で贅沢な旅を堪能しました。真っ赤に染まったリングをお土産に戴いたり、大イチョウの麓ではお米を両手ですくって僅か百円という安値に一同びつくり。

それぞれの場所での興味をそそる楽しい一日でした。どこを旅したのかお分かりと思いますが、敢えて申し上げないのがミステリーかも。

### 三班 渡邊 紫明

#### 「ランチ会の効用」

班員の親睦を深める為に近況報告を兼ねたランチ会で交流を行っています。

今年度は昨年度の総会日に合わせて城彩苑内のレストランでバイキング料理、その後八月は市内細工町の和食料理店、次は十二月に市内中心地の郷土料理店で六名が集まり美味しい会席料理を頂きながら会話が盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。

いずれも、雰囲気抜群と美味しい料理を出すお店を探してセッティングをするその時々には感心すると共に感謝しています。場所選びのセンスは女性ながらの感性を發揮する才能ですかネ。

これからもさわ大入校時の若い気持を忘れずにいつまでも元気な自分を確認できるランチ会を続けたいと思います。写真は十二月のランチ会です。



#### 四班 田口 健郎

「仲間と会うこと」

入学当時は女性六名・男性五名計十一名でした。卒業後、「ふみよ会(二三四)」の呼称をみんなで決めました。

毎年、月ごとに誕生会を兼ねて、あちこちに遊び歩きました。最近少し回数が減りました。今後はまたおいしい食事・楽しい遊びなど、みんなさんと知恵を絞って(認知症予防)いきます。今後も「ふみよ会」は不滅です!!

#### 五班 小西 守

平成二十七年三月さわやか大学校を卒

業した私達二十三期会も令和の時代を迎え五年目となりました。会員の数も徐々に減少して我々の班のメンバーも六人となり、食事会やその他の集まりもほとんどできませんでした。来年度はさらにメンバーの減少が予想され、二十三期会の運営方法を話し合う必要があると思います。



私事ですが、今二つの大きなボランティア活動をしています。一つは、さわやか大学校大学院の理事。二つ目は、熊本城の案内ボランティアガイドです。現在熊

本城は、天守閣の外観工事が完了して、日祝日は城内が見学できます。さらに来年度は見学通路が完成して復興工事も見られ、令和三年三月末には小天守が完成し、大天守最上階の展望室までのぼれます。私も、それまでは健康を保ち案内ガイドを続けながら、二十三期会のメンバーとして頑張りたいと思っています。

#### 六班 槌田 春義

役員交代で初めて役員会に出席して、役員皆さんのご苦勞がよくわかりました。初めての集まりは、令和になって天皇即位で華やいでした頃、昼食を楽しみながら役員会の報告と班の活動計画を皆で話し合いました。

九月には、新装に成った中央公民館の見学を兼ね、こじやれたカフェレストランでお互いの近況報告等、和やかな食事会でした。福祉センターにも近く便利なので今後も活用したいと思います。

年末には、忘年会も兼ね昼食会に集まり、その後はカラオケとなり、日頃鍛えた喉を張り上げての競い合いで盛り上がり、楽しみました。

## 七班 作田 誠

「生き甲斐の行動力を持ちましょう」

十番ピンスペアゲット、2オンバーデー、リーチ一発自摸満願、九十八点カラオケこれらを実現した時の喜びが現在の生き甲斐です。玉名市ボーリングクラブ週一回、中九州ゴルフセルフ月二回、山鹿雀友会第二・四土曜日、自宅カラオケ「ウガネクスト」で熱唱し、忙しい毎日を過ごしています。毎週金曜日は、ふれあい家事支援、ごみ捨て支援で要介護認定の方をお世話しています。

人生後半期に入りました。思いっきり楽しんで川を渡ろうと思っています。

今年の稲刈りも無事終了、去年並みの出来でした。

さつまいもは豊作で市場へ出荷予定です。新規就農から早十年、農大研修生で野菜づくりのイロハを習い、やっと人並みに栽培できるようになりました。初心者に優しく指導してくださった福田先生も草葉の陰で見守ってくださいていることでしょう。

土日はできる限り孫と接するようにしています。孫と付き合っていると自分が

若返るのが感じられます。

趣味を通じて知り合った友達もたくさんできました。何にでも興味を持ってその輪に入っていく気持ちと行動力が、認知予防、健康促進に役立っていると思われまます。

七班は、食事会、誕生会、忘年会を定期的に実行しています。さわ大OBの皆さん、寛容な気持ちと実行力を持ってこれからの人生を楽しみましょう。

## 八班 高森 雄一

平成から令和になった五月の中旬、シルクロードのツアーに参加し、西安・敦煌・ウルムチなど中国の西域の都市を巡回し、ラクダに乗ったり、カレーズを見るに地下へ入ったりしました。

国内旅行では、四月に妻と二人、二泊三日で京都へ出かけ社寺を拝観してきました。久しぶりの訪問で感動も新たにしました。八月には、甥の結婚式に参列の為、岐阜市へ行きました。お盆の直前で航空券やホテルの予約を取るのに苦労し、翌日早々に帰熊、十一月に入ると、三日には「ミステリー日帰り」のバスツアーに参加し楽しい時間を過ごしました。五日

には、公民館のバス旅行で唐津方面に行きました。雷山千如寺大悲王院を参拝し、虹の松原を通って曳山展示場へ行くと、唐津くんちが昨日で終わったところ、だしの片づけ中でした。

来年も旅が続けられる様元気でいたいと思います。

## 九班 堀川 秀子

今年は九班のお手伝いをさせていただきました。おかげでいろいろな行事に参加することができました。

村上美香さんの講演会、チャイリー永谷さんのコンサート等々、まじかに見られてみんなでワクワクしました。

秋の旅行が今年中止となりましたが、次はぜひ行けるようになるといいなと思います。

個人的には喜寿の同窓会などもあり、健康のありがたさをかみしめています。

さわ大で一年間受講したことは、これから生きていく上でも知恵となり十分生かされていくことと思います。

さわ大の益々のご発展をお祈りします。

# さわ大関連令和元年度活動報告

副会長 有尾 誠次

令和元年度は、さわやか大学を卒業して早や五年目を迎えました。

さわやか大学関係の本年度の主な活動の第一点目は、さわやか長寿財団と各期連絡協議会との共催のパートナーシップ講演会で、スーパースター歌謡漫談家 袋小路羽毛磨さんによる「笑いは生きるエネルギー」、歌と笑いと話題沸騰のご講演を戴きました。

第二点目として、さわやかボランティアーズの活動ですが、シルバー囲碁・将棋大会や作品展の受付と案内業務を実施しました。また十二月には嘉島町の保育園の園児を招きボランティア餅つき大会を実施するなど、子供達や地域の方々との心温まる交流を図ることができました。

第三点目は、さわやか大学校大学院の活動ですが、本年は十一期生一〇八名の方が入学され、「人生百年時代の生き方」の講座に始まり、白川公園での桜祭りや八代博物館の見学、更には徳富蘇峰と蘆花に纏わる講座などが開催され有意義な学生生活を送ることができました。

二十三期会の皆さん、来る年も元気で仲良く頑張りましょう。

## 個人投稿

### 【短歌】

清水 まち子

アフガンに捧げた命力尽き

患念の医師の温かい愛

### 【川柳】

古葉 洋子

老犬の寝姿愛しき夜半の冬

霜柱 耐えて芽吹く豆の種

工藤 貴士

年ごとに病院通いと薬ふえ

孫でかけほつとするやら静かすぎ

清水 まち子

首里城の炎と消えた亡き遺産

### 【命を救った小さなメロン】

白石 好

六月の中旬ゆっくり雨が降り出した。こんな日もあっていいと至福を感じていたら、宅配便でメロンが届く。毎年この時期に届く小ぶりの島メロン。

夕方には雨も上がりお日様も顔を出した。近くに住むKさんに「今年もメロンが来たよ。今から行くからね。」と連絡。

尋ねてみれば、五分前にお元気な声を聞いたのに、家の中で倒れている。「どうしたの」と聞くと、「もうだめ、もうだめ」と二回。おかしい普通じゃない早く救急車を呼ばなければ。

到着した隊員にいろいろ質問され、分かっているだけ答える。一緒に車に乗るように言われるが、私もKさんも一人暮らし。誰かと思っていたら老人会長が通りかかり一緒に行ってください大助かり。保険証をと言われ、見渡すといつも見覚えのあるバッグ、これだと思い抱えて車に飛び乗る。アドレス帳を開けると民生委員と後見人の携帯番号だけが書いてある。これは助かる、しかし、何度連絡しても電源が切られ繋がらず、もしものこと

があつたら、身内の人に会わせてあげたいと思うが病院についてしまった。町内の人に固定電話を教えてもらおうと連絡すると、家に直接行ってもらえた。幸い家に居られ、連絡がつく。弟さんがこられ、帰ることができた。これらすべて町内みんな協力しあつての出来事でした。容体は、血管が一本切れていたが、早く点滴ができたのでこのくらいで済み、命を取り留めたと救急隊員が知らせてくれた。一夜明け、朝八時意識も戻つたとのこと。

メロンが届かなかつたら、友人宅に行くこともなかった。人との繋がりが良い方に良い方に進んだ。

二三日後、「送ってくれてありがとう。」「助かってくれてありがとう」とうれし涙で泣きながら、むせ返りながら一人メロンを食べた。悪くはなかった。あれから半年、今リハビリ中。頑張っておられます。

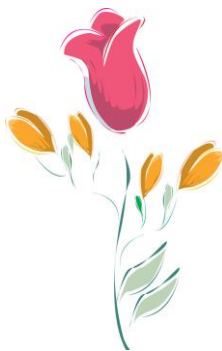
思うこと、  
・自分の歴史の中に、この経験をしっかりと収めておこう。  
・携帯電話、固定電話の両方を必ず書いておくようにしよう。

#### 役員会に参加して

はじめは、おっかなびっくりで参加の役員会。どんな仕事を知るのか、面倒くさいなど内心思つての参加。さらに話を聞くと、今年は何やら規約の改正もあり大変そう。心はブルーに。

でも、でも、でも、顔は知つていてもなかなか話さなかつた人とも、会の終わりのお茶やランチ。夏には、おがたでの美味しいお酒と楽しい会食。などなど。次第に話しやすくなり、新年会でももう顔見知りで和気あいあい。役員会で会うことで、話すことで、一緒に仕事することで親しみが倍増。人との出会いはやっぱり大事。

役員は、連絡やとりまとめはやっぱり面倒くさい。でも楽しいこともあるなどというのがしてみても感想です。



#### 編集後記

ひよんなことからふたみの編集をすることとなり、令和元年の年末から作業に入る。

皆様の協力で、原稿を催促することもなく期限内にすべて集まり作業に入る。あとは私の腕次第、パソコンが変わり、写真のスキャンでドタバタ、いただいた原稿をチャットどこかにおいて見つけるのにドタバタ、自分の始末に大わらわで、やっと形になりました。

私の「出来る範囲でいいよ」との言葉をいつも心において作ってみました。楽しんで読んでいただけると嬉しいです。

